

# やまだ防災だより

第7版 令和5年3月15日  
発行・編集  
山田町総務課 危機管理室  
0193-82-3111  
内線415、429

## 外出先での地震の対処方法について

外出時に地震が発生した場合には、場所ごとに注意しなければならないことが変わってきます。地震が起きたときに安全な避難行動を行えるよう、日頃から考えてみましょう。

### 住宅街

#### 門や塀から離れましょう！

- ・瓦やガラスなどの落下物から身を守る。
- ・ブロック塀などが崩れると押しつぶされることがあるので近づかない。



### 車の運転中



急停車すると、思わぬ事故を招くので、ご注意ください！

#### 減速し、左に寄せて停車！

- ・ハザードランプを点灯して徐々に減速する。
- ・道路の左側に停車し、エンジンを切る。
- ・駐車場や空き地があれば、そこに停車する。
- ・避難するときはキーを付けたまま、ドアロックはせず、連絡先メモを残す。

### 山間地

#### 速やかに斜面や崖から離れる！

- ・土砂崩れの危険があるので急いで斜面や崖から離れる。
- ・余震や降雨などで土砂災害の危険が高まるので注意する。



## 季節の変わり目は非常持出品の内容を見直しましょう

いつ災害が発生しても、安全安心な避難ができるよう、季節ごとに避難に必要なものを見直しましょう。特に冬期間の避難では寒さ対策が不可欠ですので、防寒着や帽子、マフラー、手袋、防寒靴、携帯カイロなどは、必ず用意しておきましょう。

また、夜間に避難する可能性もありますので、懐中電灯、ヘッドライトなどの明かりとなるものや帽子、手袋といった頭や手足を保護するものも準備しておきましょう。



いざというときに使用できるように日頃から確認を

### 海岸付近

#### すぐに高台へ逃げる！

- ・津波注意報や警報が解除されるまで、絶対に海岸や低地に近づかない。
- ・津波警報等の情報を入手する。

#### 【漁港からの避難方法】

各漁港には、3つの経路が整備されています。

- ①陸閘（ゲート）
- ②徒歩で避難する避難階段
- ③車等で避難する乗り越し道路

これらの避難経路がどこにあるのか、自分はこの経路を利用するのか、時間はどれだけかかるのかなど、事前に確認し、災害に備えましょう。



避難階段（直立提）



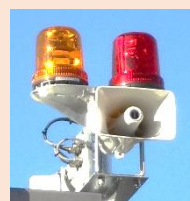
陸閘（ゲート）



乗り越し道路

#### 【陸閘（ゲート）について】

気象庁から津波注意報、警報などが発表されると、衛星回線を利用してゲートや水門が自動で閉鎖します。ゲートが動いているときは、黄色い回転灯が点灯しますので、その際は避難階段や乗り越し道路から避難しましょう。



黄色点灯⇒ゲート動作中  
赤色点灯⇒ゲート全閉

※徒歩避難の場合、全閉後にゲートにある子扉から避難することができます。

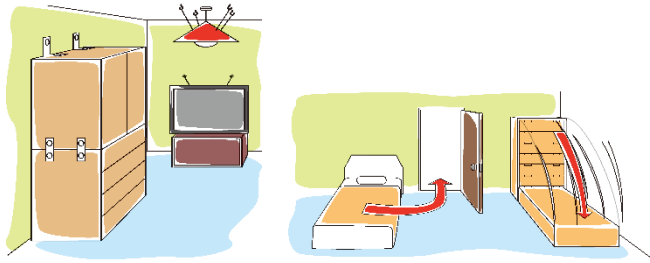
## 家庭でも事前に対策を

2月6日、トルコ南東部でマグニチュード7.8の大地震が発生し、甚大な被害を及ぼしています。大地震は「まさか」ではなく、「いつか」起きるものという意識を持ち、家庭でも事前の防災対策に取り組みましょう。

### 家具の転倒防止

大地震が発生したときには、「家具は倒れるもの」と考えて、安全対策をしっかりとしましょう。

- 家具の固定  
家具やテレビなどを固定し、点灯や落下を防ぎましょう。
- 家具の向きや配置を工夫しましょう。  
家具が倒れてけがをしたり、出入り口をふさいだりしないように工夫しましょう。



### 防災用品を身近な場所に備えましょう

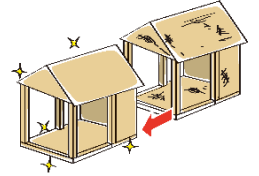
停電時に使用する懐中電灯や割れたガラスでのけがを防止するスリッパ、救助を求めるためのホイッスルなどは、手の届くところに備えましょう。



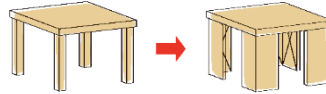
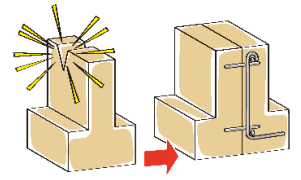
### 家屋の耐震化

地震による死亡の原因の多くは、建物の倒壊による「圧死」です。このような建物の倒壊を防ぐためには、壁の補強などを行う家屋の耐震化が有効な対策です。

「老朽・腐朽部材」の交換  
老朽・腐朽部材は新しいものに交換しましょう。

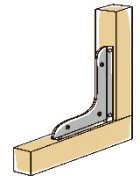


「基礎、地盤」の補強  
土台がしっかりしていないと、大きな地震のときは、住宅が倒壊する危険性が高くなります。基礎を補強して建物の性能を上げましょう。



「壁」の補強  
耐力壁の数を増やすと建物は丈夫になります。

「接合部」の補強  
柱などの接合部がどのように作られているかを確認し、できる限りしっかりとつなぎ合わせるようにしましょう。



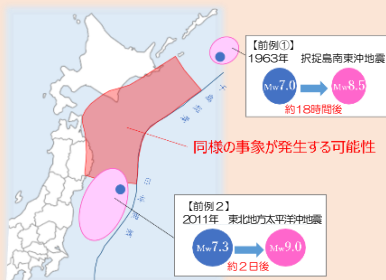
※山田町総合防災ハザードマップには地震災害のほか、さまざまな防災対策を掲載していますので日頃の備えに活用しましょう。

## 北海道・三陸沖後発地震注意情報 地震への備えを再確認しましょう

### ◆北海道・三陸沖後発地震注意情報とは

北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域やその周辺でモーメントマグニチュード7以上の地震が発生し、大規模地震の発生の可能性が平常時より相対的に高まっている際に発信される情報です。防災対応を呼びかける期間は先発地震の発生から1週間程度です。情報が発信されたら、地震への備えを再確認しましょう。

#### 【過去の発生事例】



実際に後発地震が発生する確率は、世界の事例を踏まえても百回に1回程度と低いものの、発生した場合には北海道から千葉県にかけての広い範囲で甚大な被害が想定されます。

左図及び右イラストの典拠：  
内閣府防災情報のページ

### ◆情報の留意事項

- 情報が発信されたら後発地震が必ず発生するというものではありません。
- 先発地震を伴わず、大規模地震が突発的に発生する可能性があります。
- 情報発信の対象とする地震の発生エリア（北海道の根室沖から岩手県の三陸沖）の外側でも、先発地震が発生した周辺では、大規模地震が発生する可能性があります。

### ◆皆さんがとるべき行動

- すぐに避難できる態勢での就寝  
子どもや高齢者等、要配慮者と同室で就寝
- 非常持出品の常時携帯
- 揺れによる倒壊への備え
- 土砂災害等への注意
- 緊急情報の取得体制の確保
- 平時からの備えの再確認  
水や食料等の備蓄の再確認  
家族との避難場所や連絡手段の再確認

